

2024年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

【総合生活学科のディプロマポリシー】

総合生活学科は、全学共通のディプロマ・ポリシーに基づき、知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力、主体性・多様性・協働性が、次の基準に達している者に短期大学士（総合生活学）の学位を授与する。

【知識・技能】

- ・生活全般に関わる学科基礎科目について、基礎的な知識や技能を有している。
- ・選択科目群の総合的で学際的な学びを通して、創造的に思考する技能を有している。

【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・客観的な情報の収集力、分析力、論理的な思考力、的確な判断力及び文章作成能力を有している。
- ・現代社会の課題発見能力と課題解決能力及び実践力を有している。
- ・社会に貢献できる豊かな表現力やコミュニケーション力を有している。
- ・持続可能な社会のために、未来を切り開く創造力を有している。

【主体性・多様性・協働性】

- ・実現可能なキャリアプランに向かって資格取得に資する力を有している。
- ・主体的に学修を深める力を有している。
- ・多様なものの見方や考え方を尊重する姿勢を有している。
- ・人々と協働・協調して学修を進める力を有している。

【総合生活学科のカリキュラムポリシー】

総合生活学科は、学生がディプロマ・ポリシーに定める基準に到達できるよう、次のように教育課程を編成する。

【教育課程の編成】

- ・学科基礎科目の必修科目として「総合生活論」「基礎ゼミ」「総合生活演習」、選択科目として「被服学」「食品学」「住居学」「情報社会論」「生活経営」「健康管理概論」「消費生活論」「家族関係」「被服構成基礎実習」「調理基礎実習」「住居デザイン基礎実習」「情報基礎実習」の生活全般に関わる基礎知識・基礎技術の習得を中心とする専門科目を用意している。
- ・学科の選択科目は7科目群で編成し、「服飾デザイン」「フードデザイン」「住居デザイン」「情報・ビジネス」「コミュニケーション」「心理」「キャリアデザイン」を自らのキャリアプランに応じて科目を選択し総合的に学べるよう体系的なカリキュラムを編成している。
- ・各科目で身に付けた専門的知識・技能を基にして、応用力や実践力が身に付くよう、講義形式、演習形式、実験・実習形式など、科目の特性に応じた多様な方法で授業を行っている。
- ・以下の資格が取得できる科目編成をしている。フードコーディネーター3級、秘書士、プレゼンテーション実務士、二級建築士・木造建築士（受験資格）

分類	授業科目名	授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果										
			(◎＝達成のために、特に重要な事項 ○＝達成のために、重要な事項)										
			1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4	
			生活全般に関わる学科基礎科目について、基礎的な知識や技能を有している。	選択科目群の総合的で学際的な学びを通して、創造的に思考する技能を有している。	客観的な情報の収集力、分析力、論理的な思考力、的確な判断力及び文章作成能力を有している。	現代社会の課題発見能力と課題解決能力及び実践力を有している。	社会に貢献できる豊かな表現力やコミュニケーション力を有している。	持続可能な社会のために、未来を切り開く創造力を有している。	実現可能なキャリアプランに向かって資格取得に資する力を有している。	主体的に学修を深める力を有している。	多様なものの見方や考え方を尊重する姿勢を有している。	人々と協働・協調して学修を進める力を有している。	
学科基礎科目	総合生活論	①「総合生活論」の理解を深めることができる ②図書館の利用方法やレポートの書き方が理解できる。 ③目標達成のためのキャリアプランを描くことができる ④生活全般に関わる諸問題の基本的な解決方法が理解できる。 ⑤総合生活学科の各科目の学び方が理解できる	◎			○							
	基礎ゼミ	①多様な演習授業をとおして様々な分野への理解を深めることができるようになる。 ②興味のある専門分野を選択する手がかりを得ることができる。	◎			○						○	○
	総合生活演習 (担当:福井 愛美)	①「サービス接客検定」2級及び準1級を取得することができる。 ②依頼状を作成して、取材先へアポイントメントを取ることができる。 ③目的にそった取材ができる。 ④取材活動をまとめたレポートを完成させることができる。					◎		○				○
	総合生活演習 (担当:堀 桂太郎)	①ビジネス用ソフトウェアの基本操作ができる。 ②ビジネス用ソフトウェアを活用した作業ができる。 ③制御対象の構成を理解して、制御の方法が理解できる。 ④プログラミング言語を用いて、制御対象のコンピュータ制御ができる。		○					○				
	総合生活演習 (担当:古田 貴美子)	①フォーマルなドレスの型紙を作成することができる。 ②デザインに合った布地・糸・付属品を選択することができる。 ③丁寧に縫製し、美しく仕上げることができる。 ④装飾の工夫をすることができる。	◎	◎					○		○		

2024年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

分類	授業科目名	授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果 (◎=達成のために、特に重要な事項 ○=達成のために、重要な事項)											
			1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4		
			生活全般に関わる学 科基礎科目につ いて、基礎的な 知識や技能を 有している。	選択科目群の 総合的な学 びを通して、 創造的に思 考する技能 を有してい る。	客観的 な情報 の収集 力、分 析力、 論理的 な思考 力、的 確な判 断力及 び文章 作成能 力を有 してい る。	現代社 会の課 題発見 能力と 課題解 決能力 及び実 践力を 有してい る。	社会に 貢献で きる豊 かな表 現力や コミュ ニケー ション 力を有 してい る。	持続可 能な社 会のた めに、 未来を 切り開 く創造 力を有 してい る。	実現可 能なキ ャリア プラン に向か って資 格取得 する力 を有し ている。	主体的 に学修 を深め る力を 有してい る。	多様な ものの 見方や 考え方 を尊重 する姿 勢を有 してい る。	人々と 協働・ 協調し て学修 を進め る力を 有してい る。		
選択科目	色彩学	①色彩検定3級程度の基礎的知識を身に付けることができる。 ②配色について学び、実践的に取り組むことができる。 ③色彩の多様な世界に触れ、日常生活の中に生かしていくことができるようになる。	◎				○							
	洋裁基礎演習	①デザインに合った布地・糸・付属品を選択することができる。 ②縫製技術を理解し、道具を正しく使用することができる。 ③ワンピースを美しく仕上げることができる。	◎	○							○			
	被服材料学	①繊維の種類と特徴、糸や布の構造と性質を理解することができる。 ②被服に要求される性能を考えて、目的に合った被服材料を選択することができる。 ③アパレル商品の選択に関して、素材と縫製の知識を役立てることができる。 ④アパレル生産における課題を考えることができる。	◎			◎		○				○		
	繊維学実験法	①織物、糸、繊維の実験法を理解することができる。 ②試料作りの大切さを理解することができる。 ③実験結果を図表にまとめ、考察することができる。 ④実験レポートを作成することができる。	○	◎	○									○
	被服構成実習(和裁)	①平面構成の衣服である着物の特徴を理解することができる。 ②ゆかたの部位に適した縫い方を理解することができる。 ③手縫いでゆかたを縫うことができる。	◎	○								○		
	染色学	①繊維によって用いられる染料が異なることを理解することができる。 ②自然の草木が染料になることを理解することができる。 ③身近な素材を使って染色することができる。		◎					○		○			○
	ファッションデザイン論	①服飾の変遷を学ぶことで、その時代性と衣服の関係を理解し、デザインの基本論理から衣服におけるデザインと機能について理解を深める事ができる。 ②学んだ知識をもとに、実生活において活用することができるようになる。				○				◎	○			
	ファッションビジネス論	①ファッションビジネス基礎知識とマーチャンダイジング戦略の認識を習得することができる。 ②講義で得た知識を使い企画を作り上げることができる。					○			◎	○			
	製パン・製菓実習	①製パン・製菓の理論が理解できるようになる。 ②さまざまな手法を習得できるようになる。	◎							○	○	○	○	○
	調理学実習	①食品の季節や調理特性について理解できるようになる。 ②ライフステージごとに必要な食事のポイントをふまえた食事づくりができるようになる。 ③諸外国の料理や行事食の調理を通して、各国の料理や食文化について習得できる。		◎							○	○	○	○
	栄養学	①栄養と健康に関する正しい知識が習得できるようになる。 ②健康な食生活が実践できるようになる。		◎		○				○	○			
	調理学	①食品の栄養特性や物性を理解することができる。 ②様々な食材の調理操作方法について理解することができる。 ③食品の安全・栄養・嗜好に基づいた食事計画を理解することができる。	◎							○	○			
	食品加工学	①食品加工技術の進歩に伴う食品の特性や機能が理解できるようになる。 ②加工食品の正しい選択や利用方法を習得することができる。 ③健康で安全な食生活が実践できるようになる。		◎		○				○	○			
	食品学演習	①食品の正しい知識と扱い方を習得することができる。 ②食品の基本的な品質評価や鑑別方法について理解できるようになる。 ③食品の処理方法の違いによる食感などを比較し検証することができるようになる。		◎	○								○	○
食品加工学実習	①食品の加工方法を身に付けることができる。 ②食品加工の原理を理解し、豊かな食生活を実践できる応用力が身につくようになる。	◎							○	○	○	○	○	
食品衛生学	①「食の安全」がいかに重要かということの具体例を3つ以上説明できるようになる。 ②学んだ知識を日常に活かすことができるようになる。 ③フードコーディネーターや消費者の立場で適切な食品衛生管理方法を理解・習得できる。		○						◎					
食生活論	食生活の質を高めるための知識を身に付けることができる。 食の多様性を理解できるようになる。		○						◎	○				
フードコーディネーターの基礎	フードコーディネーターに必要な教養と知識が習得できる。		○						◎	○				
フードコーディネーター実習	①基本的なセッティングの約束ごと、コーディネートアイテムとカラーコーディネートの知識、テーブルマナーの知識について習得できる。 ②テーマに沿ったレシピを立案し、コーディネートアイテムと組合せて食空間の演出ができるようになる。		○			○			◎	○	○	○	○	

2024年度入学生 総合生活学科カリキュラムマップ

分類	授業科目名	授業科目の到達目標	総合生活学科の学修成果 (◎=達成のために、特に重要な事項 ○=達成のために、重要な事項)											
			1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4		
			生活全般に関わる学教科基礎科目について、基礎的な知識や技能を有している。	選択科目群の総合的な学びを通して、創造的に思考する技能を有している。	客観的な情報の収集力、分析力、論理的な思考力、的確な判断力及び文章作成能力を有している。	現代社会の課題発見能力と課題解決能力及び実践力を有している。	社会に貢献できる豊かな表現力やコミュニケーション力を有している。	持続可能な社会のために、未来を切り開く創造力を有している。	実現可能なキャリアプランに向かって資格取得に資する力を有している。	主体的に学修を深める力を有している。	多様なものの見方や考え方を尊重する姿勢を有している。	人々と協働・協調して学修を進める力を有している。		
選択科目	心理	ビューティ心理学	①個人と他者の美しさに対する心理の違いを理解することで、見た目に対する個人や他者の評価の変化に気がつくことができるようになる。 ②個人と他者の価値観や五感の感じ方、美しさの心理の違いを理解することで上手にコミュニケーションがとれるようになる。				○	◎	○	○	○			
		犯罪心理学	①TVや新聞の犯罪報道を正確に理解できるようになる。 ②犯罪捜査に関する専門的用語などが理解できるようになる。 ③規範意識・遵法精神が醸成できるようになる。 ④犯罪、災害等に対する危機管理能力を身に付け、有事の際に迅速的確に対応し、わが身を守ることができるとともに、周囲の友人等の相談に応じることができ、社会人として生きる力を養成できる。	○		○	○	◎						
		恋愛心理学	①他者と親密になる過程について説明することができる。 ②恋愛における様々な問題の発生について得られた知識から説明できる。 ③恋愛関係で生じる様々な諸問題を防ぐ、あるいは解決する方法を提案できる。	○			○	◎				○		
		恋愛心理学	①普段何気なく接している音楽について、人がどのように聞き、認識し、感じているのかを理解することができる。 ②各テーマに関する考察・検討とその発表、および実験を通して、自分の考えをまとめ、相手に情報を正確に伝えるためにどのようにすればよいかを考えることができる。		○	○		◎			○			
		カウンセリング論	①カウンセリングの基本を学び、相手の気持ちや内面を正しく理解できるようになる。 ②自分自身について理解を深め、自分の思いを相手にうまく伝えることができるようになる。	○	○	○	○	◎						
	キャリアデザイン	ブライダル・プランナーⅠ	日本のブライダルについての基礎知識が理解できるようになる。	◎						○	○	○	○	
		ブライダル・プランナーⅡ	①世界のブライダル事情が理解できるようになる。 ②ブライダルの企画ができるようになる。	◎						○	○	○	○	
		ブライダルコーディネート論	①ブライダルの歴史や関連する基礎知識を理解できるようになる。 ②日本従来のしきたりや文化を理解すると共に、現在の流行や最新のブライダルについて理解できるようになる。 ③ブライダル業界で求められるコミュニケーションスキルの必要性を理解できるようになる。	◎				○		○	○			
		ブライダルコーディネート演習	①ブライダル知識を体験することでより深く理解できるようになる ②ワークをとおして、企画力・想像力・実践力が身につけることができる	◎				○		○	○			
		メイクアップ論	①社会人になるための女性として必要な正しいスキンケア・メイクアップができるようになる。 ②化粧品の成分やその効果を理解することで、肌にあう化粧品の選び方や肌トラブルを未然に防ぐことができる。 ③顔型・顔のプロモーション・パーソナルカラーを習得することで個人の魅力を演出することができるようになる。							◎	○			
メイクアップ演習	①メイクアップ論での習得した内容をライブマスク(顔型)で実践できるようになる。 ②顔型に合う眉の描き方、頬紅・シャドウのつけ方、アイメイクの基本のつけ方ができるようになる。 ③メイクセラピー検定試験 3級「認定メイクセラピーガイド」資格を履修者全員取得する。 ④就活メイク・社会人になった時の「なりたい個人のイメージ像」のメイクができるようになる。							◎	○					
ネイルアート演習	①正しいネイルケアの知識と技術を身に付けることができる。 ②社会に通用するネイルデザインやカラーを学ぶことで、知的で清潔感のある女性を目指すことができる。							◎	○					